

施策番号	2112		
施策名	個性的で美しい景観の形成		
概要	自然・歴史的な景観の保全，市街地のきめ細かな景観づくりを推進し，個性的で美しい景観を形成する。		
担当局	都市計画局	共管局	総合企画局・環境局・建設局
上位政策	211 美しいまちをつくる		

施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)	c	e	1.75	2.18	4.86	44.9%	d
2 景観重要建造物件数(件)	-	a	20	26	40	65.0%	d
3 (準)景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積(数値は別掲)	b	b	別紙	別紙	-	-	a
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	c	c	客観指標総合評価				c

2 市民生活実感評価

設問	京都の個性的なまちなみ景観が守られている。						
	回答	18		19		20	
		回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
	a: そう思う	51	9.4%	35	7.4%	90	12.9%
	b: どちらかというと思う	184	33.9%	153	32.5%	238	34.0%
	c: どちらとも言えない	131	24.1%	125	26.5%	173	24.7%
	d: どちらかというと思わない	97	17.9%	78	16.6%	101	14.4%
	e: そう思わない	80	14.7%	80	17.0%	97	13.9%
	有効回答数	543		471		699	
	市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	C	C	C
市民生活実感評価	C	C	C
総合評価	C	C	C
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	まちづくり行政は、施策の効果がでて、市民の実感に至るまで時間がかかるものなので、客観指標総合評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。客観指標総合評価については、19年9月から地域の景観特性に応じた建築物の高さ規制やデザイン基準の見直し、屋外広告物対策の強化などを盛り込んだ新景観政策を実施し、それに伴って景観地区等の指定数や面積が大幅に増えた一方、景観重要建造物の指定件数が18年度に比較して伸び悩んだことと、電線類地中化事業等により新たに電線や電柱がなくなった区間の距離が単年度目標をかなり下回ったことで、C評価となっている。

歴史都市・京都の景観を保全し、創出していくため、今後、この新景観政策を着実に推進していくとともに、景観重要建造物の修理・修景に対する助成制度や電線類地中化事業をより一層進めていくための予算の確保のために国への要望活動を行っていく。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	国家戦略としての京都創生の推進	87,039	83,308	充実	総合企画局政策推進室
2	界わい景観整備地区等助成事業	73,534	65,534	現状のまま継続	都市計画局都市景観部景観政策課
3	伝統的建造物群保存等事業	51,727	53,227	現状のまま継続	都市計画局都市景観部景観政策課
4	時を超え光り輝く京都の景観づくり事業	80,803	0	終了	都市計画局都市景観部景観政策課 市街地景観課
5	京都創生・景観づくり事業	319,357	324,357	現状のまま継続	都市計画局都市景観部景観政策課 市街地景観課
6	京都市嵯峨鳥居本町並み保存館	3,400	3,400	現状のまま継続	都市計画局都市景観部景観政策課
7	風致地区規制指導等事務	95,921	100,950	現状のまま継続	都市計画局都市景観部風致保全課
8	違法開発監察事務	40,728	40,662	効率化等による見直し	都市計画局都市景観部風致保全課
9	自然風景保全地区規制指導等事業	7,719	7,740	現状のまま継続	都市計画局都市景観部風致保全課
10	京都市眺望景観創生条例の運用	46,342	41,042	現状のまま継続	都市計画局都市景観部風致保全課
11	美観地区等規制指導事務	158,699	173,709	充実	都市計画局都市景観部市街地景観課 景観政策課
12	屋外広告物等の規制・啓発等事業	59,963	59,963	現状のまま継続	都市計画局都市景観部市街地景観課

(従)	13	市民ボランティアによる違反はり紙等除却事業	14,936	13,393	現状のまま継続	都市計画局都市景観部市街地景観課
	14	分譲マンション建て替え・大規模修繕等支援事業	7,924	7,924	現状のまま継続	都市計画局住宅室住宅政策課
	15	マンション建て替え融資制度	453,693	0	現状のまま継続	都市計画局住宅室住宅政策課
	16	電線類地中化	1,559,378	1,501,278	現状のまま継続	建設局道路建設部道路環境整備課
	合計		3,061,163	2,476,487		
	うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		1,501,785 (1,559,378)	975,209 (1,501,278)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2112	個性的で美しい景観の形成
-----	------	--------------

指標名	電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)
-----	------------------------

担当課	道路環境整備課	連絡先	222-3570
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

当該年度の電線類地中化事業等により、電気事業者・電気通信事業者・道路管理者などの電線(光ファイバー含む)とそれらが支持する電柱が存在しなくなった区間の延長。電柱の抜柱がまだの場合も含む。また地中化事業によらない場合(裏配線・軒下配線等)も含む。なお、両側電柱区間では両側の延長の合計とする。

2 指標の意味

電線類の地中化などにより、安全で快適な通行空間の確保や都市景観の向上が図られたかを示す指標

3 算出方法・出典等

当該年度の電線類地中化事業等により、電線や電柱がなくなった道路における管路の延長

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1.75	2.18	0.43km増	4.86	第5期無電柱化推進計画(平成16~20年度)の整備延長について、国補助に応じた事業量を単年度目標とした。	44.9%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	34.29	20年度	20.90%	第5期無電柱化推進計画(平成16~20年度)

備考	平成19年度末で50.32km延長済(第1期計画分~)
----	-----------------------------

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a: 100%以上
b: 80%以上100%未満
c: 50%以上80%未満
d: 30%以上50%未満
e: 30%未満

6 基準説明

目標値は事業予算の関係上、上回ることは困難なため、100%の達成を最高のaとし、過去の目標達成率で最低値であった30%未満をeとして等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

18	19	20
c	e	d

指標名	景観重要建造物件数(件)
-----	--------------

担当課	景観政策課	連絡先	222-3397
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京町家をはじめとする地域の景観のシンボリックな役割を果たしている建築物等の数

2 指標の意味

地域の景観の維持及び向上に資する建築物の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

建造物の総合計
出典: 事業担当課調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	20	26	6件増加	40	前回数値(20)+中長期目標を達成するための単年度増加件数(20)	65.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	全国1位	108	平成23年	24.0%	歴史的意匠建造物件数

備考	中長期目標は目安値として設定。景観重要建造物件数の増加等を図るため、景観形成総合支援事業の制度拡充を国に要望している。
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a: 90%以上
b: 80%以上90%未満
c: 70%以上80%未満
d: 60%以上
e: 60%未満

6 基準説明

前回数値に、当該年度増加目標数を加えた数値を単年度目標値として設定し、目標値に対する90%以上の達成度をa評価とし、10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

18	19	20
-	a	d

施策名	2112	個性的で美しい景観の形成
-----	------	--------------

指標名	(準) 景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積 (数値は別掲)
-----	-----------------------------------

担当課	景観政策課, 市街地景観課, 風致保全課
-----	----------------------

連絡先	222-3397, 222-3474, 222-3475
-----	------------------------------

1 指標の説明

各地域の特色ある景観の維持及び向上を目指して指定した地区の数と面積

2 指標の意味

景観保全のための規制, 指導, 誘導等が及ぶ範囲の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

各地区の数と面積の総合計
出典: 事業担当課調査

4 数値

数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	別紙	別紙	別紙	-	-	-

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が前年度と比較して
a: 過去5年間で最大の増加
b: 増加
c: 同水準
d: 減少
e: 過去5年間で最大の減少

6 基準説明

地区の指定数及び面積の増減は, 景観保全及び整備施策の効果が第1次的に及ぶ範囲の増減を示すものであるため, 前年度と比較した基準を設定した。

7 評価結果

18	19	20
b	b	a

景観保全や整備に関する地区の指定数

(別紙)

		平成18年度	平成19年度	前年度比 %	前年度からの増加数
美観地区	地区数	10	8	80.0	(2)
	面積(ha)	1,956	3,431	175.4	1,475
建造物修景地区	面積(ha)	6,704	8,581	128.0	1,877
沿道景観形成地区	地区数	1	0	0.0	(1)
	面積(ha)	17.1	0	0.0	(17)
歴史的景観保全修景地区	地区数	3	3	100.0	0
	面積(ha)	14.1	14.1	100.0	0
界わい景観整備地区	地区数	7	7	100.0	0
	面積(ha)	144.5	144.5	100.0	0
伝統的建造物群保存地区	地区数	4	4	100.0	0
	面積(ha)	14.9	14.9	100.0	0
風致地区	地区数	17	17	100.0	0
	面積(ha)	17,831	17,938	100.6	107
自然風景保全地区	面積(ha)	25,780	25,780	100.0	0
歴史的風土保存区域	地区数	14	14	100.0	0
	面積(ha)	8,513	8,513	100.0	0
近郊緑地保全区域	地区数	1	1	100.0	0
	面積(ha)	3,333	3,333	100.0	0
特別緑地保全地区	地区数	2	2	100.0	0
	面積(ha)	26	26	100.0	0
買取面積	古都保存事業(m ²)	2,178,054.73	2,364,673.73	108.6	186,619
	緑地保全事業(m ²)	21,116	24,211	114.7	3,095
施設整備	数	4	5	125.0	1
	面積(m ²)	4,683	1,027	21.9	(3,656)